

警察官等を騙った特殊詐欺事件の発生について

1 認知日

令和7年8月29日（金）

2 発生日

令和7年7月18日（金）から同年8月18日（月）までの間

3 被害金

暗号資産 5,810万円相当

4 被害者

和歌山県西牟婁郡白浜町内居住 80代・男性

5 状況

令和7年7月18日、被害者の自宅電話に厚生労働省をかたる男から電話があり、「あなたの保険証が金沢市の病院で使用された。その際、薬が処方されているが、一月分30錠のところ60錠が処方されており、これは違法である。」などと言われました。

その後、金沢西警察署の警察官をかたる男から「ある犯罪グループが起こした事件の押収資料の中に、あなた名義のキャッシュカードがあった。警察としては、あなたも犯罪グループの一員と考えている。身の潔白を晴らすためには、資産を調査する必要がある。」などと言われ、また検事を名乗る男からも「捜査に協力してくれたら、あなたの資産を差し押さえられる事態だけは避けるようにしたい。その代わり、守秘義務を守ること」等と言われました。

被害者は、相手の話を信用し、男から指示されたとおり、暗号資産取引所に登録するとともに、暗号資産を購入して指示された先に送信しました。

その後、相手とも連絡が取れなくなったことから、金沢地方検察庁に問い合わせたところ、それは詐欺であると言われ、詐欺の被害に遭っていることに気がつき、本日、当署に届出があったものです。

6 その他

和歌山県警察では、

特殊詐欺被害防止専用フリーダイヤル

その話ホンマに大丈夫？かけて損なし『ちょっと確認電話』

電話番号 0120-508（これは）-878（わなや）

を開設（24時間）しています。

警察官をかたる詐欺が多発しています。

警察官が「資金調査」などを理由にお金を振り込ませたり、暗号資産を送金させることは絶対にありません。

そのような電話があれば、詐欺を疑って、すぐにちょっと確認電話にて確認してください。